| 第２回　北広島市市民交流広場市民会議 | |
|---|---|
| **日　　時** | 平成 28 年 6 月 29 日（水）15：30～17：00 |
| **場　　所** | 市役所本庁舎 2 階会議室 |
| **出 席 者** | 【委員（6 名）】　※欠席委員なし<br>麻生　昌裕　　北広島市自治連合会会長<br>安藤　淳一　　道都大学美術学部建築学科教授<br>数納　華代　　北広島市 PTA 連合会副会長<br>定政　弘志　　東部中央連合町内会副会長<br>澤田　孝幸　　北広島商工会理事<br>林　　理加　　公募委員 |
| | 【事務局（5 名）】<br>中屋　直　　企画財政部長<br>川村　裕樹　　企画財政部次長兼政策推進室長<br>橋本　征紀　　企画財政部政策推進室企画課長<br>高嶋　真一　　企画財政部政策推進室企画課主査<br>杉原　史惟　　企画財政部政策推進室企画課主任 |
| **傍 聴 者** | 0 名 |
| **会議次第** | 1　開会<br>2　庁舎建設現場、広場予定地の視察<br>3　（仮称）市民交流広場の整備の方向性について<br>4　その他<br>5　閉会 |

## 会議録

### 1　開会

委員 6 名が全員出席。事務局から開会のあいさつ。視察への誘導。

### 2　庁舎建設現場、広場予定地の視察

（防災・庁舎建設課長による現場説明）　→庁舎建設現場外周を視察

（事務局による広場予定地の現場説明）　→高低差、範囲イメージを確認

### 3　（仮称）市民交流広場の整備の方向性について

（事務局あいさつ、進行）

・　現場を見て新たな思いが出ることもあったと思う。前回のものに合わせて、皆様から広く意見をいただきたい。

（安藤議長からあいさつ、以後議長が進行を担う）

・　前回の会議により、3 つのコンセプトについては了解しているというラインからスタートしたい。

【事務局】

・　前回の会議で出た意見をまとめた資料に基づいて説明

【議長】

・　図面で見たときよりも庁舎との距離があるなど、各委員は数字ではつかめない広さを感じたところだと思われる。

・　前回出た意見が資料にまとめられているが、実際に現場を見てみたことで新たに付け足した方が良い点などについて意見をいただきたい。

【Ａ委員】

・　前回の会議後、町内会の集会時に出た意見だが、花壇は固定してしまうと広場の使用可能範囲が制限されてしまうので、移動できるボックス型のものにするのが良い。

・　併せて、市民参加型のフラワーフェスティバルなどの植栽イベントを実施しては

【事務局】

・　十分考えられる内容であると思う。花壇等については道路との境界部分に置くのであれば固定式のものになると想定される。

【Ｂ委員】

・　既存の桜だけではなく、楓なども植えてほしい。第 3 庁舎横のスペースはどうか

【事務局】

・　洗車場などのスペースになる予定である

【Ｃ委員】

・　断面図をみると、かなり狭く、傾斜地に何か作るのは難しいと感じる。

【事務局】

・　そのように想定する。中通路になるようなイメージがある。

【Ｃ委員】

・　階段も必要あるのでは。転んでも怪我しないアンツーカーのようなものが望ましい。

【Ｄ委員】

・　芝の部分はどこまでのイメージか。

【事務局】

・　資料 10 ページの緑の部分までは芝のイメージである。

【Ｂ委員】

・　フラット部分の舗装整備は決定なのか。今日のような暑い日だと子どもは遊びにくいのでは。また、広場とプレイロット間は距離があるが、一体的利用となり得るのか。

【事務局】

・　確かに距離感はあると思うが、隣接した場所であるので、一体的な活用は当然考えられると思っている。
・　舗装という部分については、様々な活用方法を考えるとベストだと考えている。芝、砂利、ダストのような舗装ではないと想定している。

【Ｅ委員】
・　周辺地に舗装の平らな広いスペースはないが、芝（草）の公園などは周囲にある。広場は様々なイベントで利用しやすいスペースとなる。

【Ｂ委員】
・　トイレなどについては庁舎のものを使用することで対応可としているが、土日や庁舎が閉まったあとでも対応できるものなのか。

【事務局】
・　現在も土日や閉庁後も無人になることはなく、庁舎を締め切っているということはない。新庁舎でも同様に対応可能と考えている。24 時間いつでも使えるトイレを広場内に設置するとした際は、治安などの面の考慮が必要である。

【Ｂ委員】
・　図を見ると日影が少ないイメージがある。暑い日は利用がされにくいのでは。ベンチシェルターを設置したとしても、時間帯により効果が限定されると思われる。

【Ｅ委員】
・　ベンチシェルターは充分な数を設置したほうがいいと思う。数が少ないと取り合いになったりすることが考えられる。

【事務局】
・　通常時とイベント時の需要見込みは専門家による調査が必要だと感じている。

【議長】
・　フラット部分の 43m は決定で考えられているか。あるいは、通路の部分を増やしたり、傾斜を緩やかにしたりなどを考慮する余地はあるのか。

【事務局】
・　確定した案ではなく、平面部分を広くとることに主眼を置いた図である。今後の協議の中で変更できる余地のある部分である。

【議長】
・　そうであればこれからも様々な活用方法が考えられる。

【Ｄ委員】
・　遊び心が感じられるものを取り入れてほしい。ディズニーランドの隠れミッキーなどあれば話題にもなるし楽しいのでは

【事務局】
・　そういった話は今後作っていく中で参考にできる部分であるので、意見は広くいただきたい。

【Ｅ委員】

・　ステージの設置について、常設は予算や使用目的から難しいとは理解するが、どのような運用となるのか

【事務局】

・　仮ステージによる運用を考えているが、水回りや照明などについては今後よく検討していく必要がある。

【Ｃ委員】

・　大通公園のイメージが浮かぶが、平面部分の舗装はアスファルトか。現場を見た際に、43m もないような感じを受けたが。

【事務局】

・　アスファルト系の舗装になるという想定でいる。全体の設計を行わないことには広い狭いというイメージはわきにくいと思う。

【Ｃ委員】

・　仮ステージを設置するような大規模なイベントを、この地で実施するのは難しいのでは。小学生などを主なターゲットとした交流イベントでの利用を想定するのが良いのでは。

【Ｅ委員】

・　広さに合わせたやり方は検討できる。逆にそのような使い方ができないとなると、資料に描かれている方向性が大分変ってくると感じる。

【Ｂ委員】

・　日常的に市民が集うという点よりも、イベントメインの方向に走っているのではないかと感じる。

【事務局】

・　多目的な物事に対応できるオープンスペースにするのが望ましいと思っている。
・　どっちつかずというイメージを抱いているのではと思うが、街区公園ではないことを踏まえると、特定のことに特化したものは作りづらいと考えている。

【Ｅ委員】

・　オープンスペースでバスケットやスケートボードなどができるようなことも想定しているか

【事務局】

・　道路に面していることなどから、安全面を考えるとボール遊びは難しいのでは。スケートボードなども需要はあると考えられるが、それを好ましいと思う人と相応しくないと思う人と分かれるだろうと推測する。

【Ｃ委員】

・　多目的とはいえ、何でもかんでもできるものではなく、節度をもった広場となってほしい。

【議長】

・　色々な使用方法が想定されるが故にでもあるが、市民に様々な思いがある中、全てに応えること

は難しいが、我々の意見をなるべく多く反映させてもらえるようにするのが、この会議の意義であると考えている。

・　案としてあるシンボル時計のデザインを子どもたちにデザインしてもらうなど、市民参加の場を設け、市民が何らかの関わりを持って作り上げていくことが大切であると考えている。

【事務局】

・　重要な視点であると思う。オープンのセレモニーなど、考えられることは多くあると思われる。

【議長】

・　今日を含めて２回の会議の中で多くの意見が出たが、当初の予定通り３回目の会議を設けた方が良いか。これ以上案が出るようであれば必要あると思われるが。

【Ｂ委員】

・　事務局としてはどう捉えているか。

【事務局】

・　これまでに非常に有意義な意見が多くでたと認識している。導き出された方向性については、議長と事務局に一任いただき、整理させてもらうのがいいと考えている。

【議長】

・　異論がなければ、今日までの２回をもって会議は終了としたいと思う。

4　その他

【事務局】

・　これまで多くの意見をいただき感謝しており、整備に向けた方向性が見えてきたと感じている。技術的な面など、さらに検討しなければいけない事項も多い。本市民会議の意見を踏まえ、今年度中に「用地確定測量」、「実施計画」を実施する予定でいる。

・　今後の進捗についてはホームページ等で逐次報告していくが、折を見て、委員の皆様に報告をしていきたいと考えている。

・　完成後は様々なイベント等にご参加いただければ幸いである。

5　閉会

（議長より閉会のあいさつ）